

タケシールC4-NAT工法

立上り工法

工 程	使 用 材 料	使 用 量	方 法	※1 次工程までの作業間隔
下地処理			下地を洗浄し、十分に乾燥 必要に応じ、カチオンフィラーにて下地調整	
プライマー塗布 1回目	タケシールE-500プライマー タケシールNo.100シンナー	0.2kg/m ² 0.1kg/m ²	タケシールE-500プライマーのA液とB液を1:4 の重量比で混合し、更にタケシールNo.100 シンナーで30%希釈した塗布液をローラー・刷 毛で塗布	1時間以上 3日以内 ※2
プライマー塗布 2回目	タケシールE-500プライマー	0.3kg/m ²	タケシールE-500プライマーのA液とB液を1:4 の重量比で混合した塗布液をローラー・刷 毛で塗布	3時間以上 3日以内 ※2
補強布貼り	タケシール1液NEO+ 増粘材K	0.4kg/m ²	タケシール1液NEO+に増粘材Kを 混合した塗布液をコテ・ヘラ等で塗布	直ちに
	補強クロス 1m巾	1.1m ² /m ²	シワがよらないように補強クロスを貼り 付け	直ちに
ウレタン防水材料 塗布1回目	タケシール1液NEO+ 増粘材K ※4	1.2kg/m ²	タケシール1液NEO+に増粘材Kを 混合した塗布液をコテ・ヘラ等で塗布	24時間以上 3日以内 ※3
ウレタン防水材料 塗布2回目	タケシール1液NEO+ 増粘材K ※4	1.0kg/m ²	タケシール1液NEO+に増粘材Kを 混合した塗布液をコテ・ヘラ等で塗布	24時間以上 3日以内 ※3
トップコート塗布	タケシールS Sトップ	0.12~0.15 kg/m ²	タケシールS SトップのA液とB液を1:10 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛等で塗布	養生時間 24時間以上
設 計 膜 厚		2.0mm		

※1 作業間隔は気温20℃晴天時の場合のもの

※2 タケシールE-500プライマー塗布後3日（72時間）以上経過した場合はサンドペーパーなどで目あらしし、タケシールE-500プライマーを再塗布した上、次工程に移ること

※3 タケシール1液NEO+塗布後3日（72時間）以上経過した場合は塗膜表面をタケシールECOシンナーを染み込ませたウエスで清掃し、タケシールNo.400プライマーを0.1kg/m²程度塗布した上、次工程に移ること

※4 タケシール1液NEO+に対する増粘材K添加量の目安は下表の通り

荷姿	増粘材K添加量
18kg缶の場合	450g～540g
10kg缶の場合	250g～270g

※ タケシールE-500プライマーに替えて、タケシールAE-211プライマーを使用してもよい

